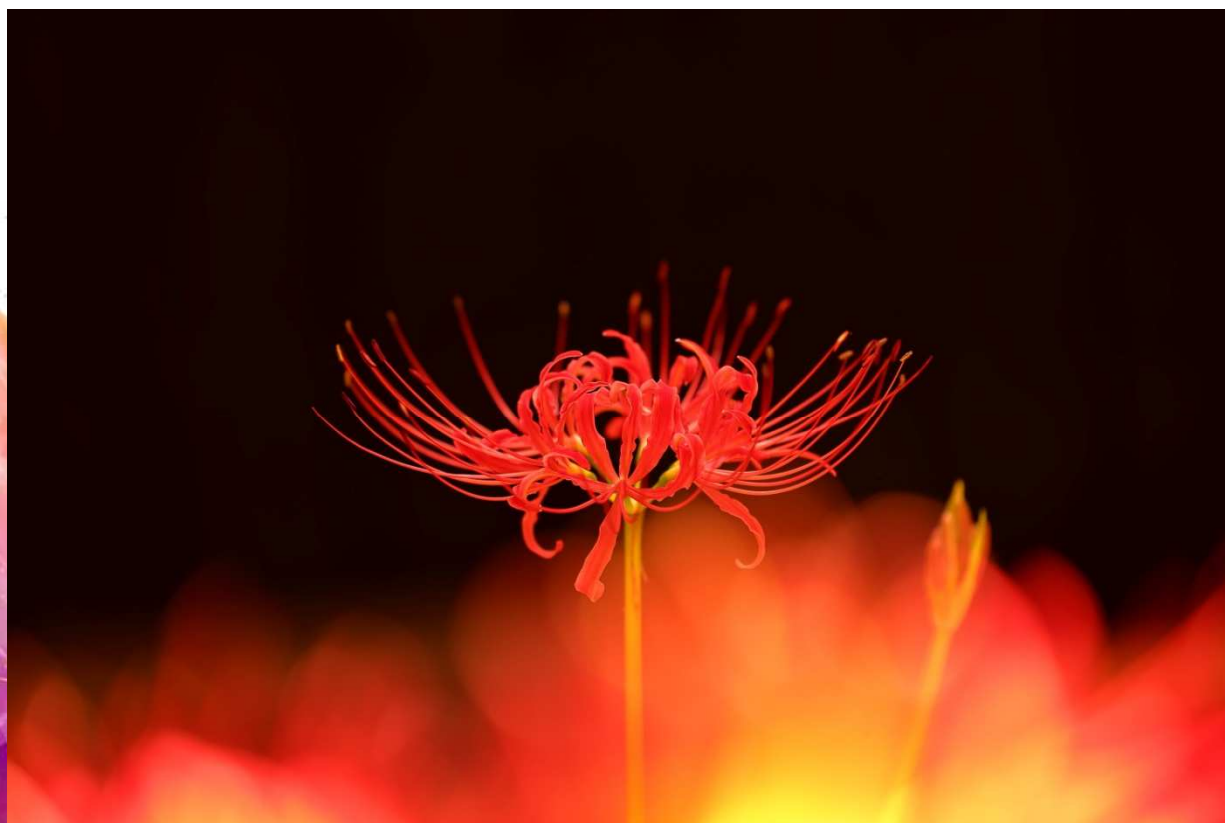


O & K VOICE

株式会社オーアンドケー社内報Vol.101

2022年11月号



撮 影 者: 倉 知

撮影場所: 香嵐溪

日陰に咲いている彼岸花を主役にし手前の強い光を浴びている彼岸花をぼかして炎に包まれているように撮影しました。

水拭きをもっと楽に！もっと丁寧に！もっと安全に！ ～部長 江坂～



今回は先月から医療法人資水会 八事病院で導入した水拭きマシンについての紹介です。

私たちが求めているのは、各現場で作業する皆さんの安全と効率です。同じ作業時間の中で、もっと楽に、もっと丁寧に、もっと安全に水拭きができないものかと模索しています。そんな中で出会ったのがこのマシン…ケルヒージャパンの手押し式床洗浄機BR30／1です。このマシンの売り文句に、『モップ清掃に比べ最大20%優れた清掃効果と60%早い乾燥、清掃時間を最大50%削減』とありました。いやいや、私が考えていた通りのマシン！！

水拭きをするときは「絞る」という動作が必要になってきます。この「絞る」という動作は、人によって力の強さが違う、絞り機の使い方が違う、モップが乾いてしまうなど作業する方によって違いが生じてしまいます。絞り切れていないモップでは、床は余分に濡れてしまい、転倒の危険や雑菌繁殖の危機になります。しかし、このマシンは誰でも、簡単に一定の濡れ感で水拭きができるマシンとなっています。



■手押し式床洗浄機BR30／1の特徴■

- ・バッテリー式で重さは4.5kg程度
- ・1回の充電で使える時間は60分程度
- ・円筒状のマイクロファイバーが回転して汚れを取っていく
- ・このマシンのすごいところは、回転しているマイクロファイバーをくし状のものでしごき、汚れた水はゴミやホコリを底部にあるタンクに回収していくところ！
- ・水を出す量は手元で簡単に調節できるので、必要な時に必要な分だけ水を出せる
- ・洗剤や抗菌剤などを水に混ぜて使用すれば、より効果が上がる
- ・机の下や狭いところも作業しやすい構造になっている
- ・マシンのメンテナンスが非常に簡単



新しい道具やマシンは使い慣れるまでは大変ですが、変化を恐れていてはより良い作業は生まれません。

清掃の世界も日々進化しています。

実際に作業される皆さんを第一に考え、よりよい作業環境にしていきたいと思います。皆さんもご意見等あれば、各担当者までご相談ください。



SDGs～管理本部部長 太田～



こんな画像を新聞や雑誌などで見たことはありませんか。
これは「エスディージーズ」と読みます。「SDGs」という言葉は聞いたことがあるけれど、具体的な内容はわからないという方も多いのではないのでしょうか。

簡単に説明すると、貧困問題や気候変動・感染症など、地球を取り巻く環境の中で、誰一人取り残すことなく、豊かに生きていくことを掲げた世界規模の目標のことです。2015年の国連サミットで2030年までに達成しようと17の目標（ゴール）が決められました。



昨年7月号のVOICEで管理本部の村瀬も二つの目標（「3. すべての人に健康と福祉を」「8. 働きがいも経済成長も」）に注目し、全従業員の皆さんに有休休暇を取得していただくように紹介しました。当社としてもこの「SDGs」に賛同し、その達成に向けた取り組みにコミット（約束）することを表明しました。



SDGs 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、事業活動を通じて地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022 年 9 月 1 日

～世界の未来を共に創り出す～
株式会社 オーアジドコー

SDGsへの取り組み

環境

車両整備の徹底／太陽光発電の利用／
使い捨てコンタクトレンズの空ケースリサイクル運動／
ごみ拾い促進プラットフォーム「ピリカ」への参加・協賛／
周辺地域美化活動／清掃汚水の回収と適正処理／

人権・雇用・健康

有休休暇取得促進／育児・介護休暇の計画的取得の促進／
社員の資格取得支援／表彰制度（永年勤続表彰）／
従業員への社内・社外研修の充実／福利厚生の充実／
高齢者・障害者等の雇用促進／ハラスメント規程の策定と教育／「あい健康プラス」への社員参加／
定期健康診断の実施／インフルエンザワクチン接種費用の支援／

地域社会

100日間無事故無違反運動への参加／交通安全立哨活動／
自治体からのことも110番の委嘱／交通安全協会・防犯協会・保護司会への参加



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、SDG(Sustainable Development Goals)の略称です。17の目標があり、それぞれが地球の持続可能な発展のために必要とされているとされています。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、SDG(Sustainable Development Goals)の略称です。17の目標があり、それぞれが地球の持続可能な発展のために必要とされているとされています。

■当社の主な取組■

- ・「あい健康プラス」への参加促進
- ・有休休暇取得促進
- ・永年勤続表彰
- ・交通安全立哨活動
- ・マスク配布・熱中症対策商品券配布等
- ・高齢者・障害者等の雇用促進
- ・福利厚生 of のさらなる充実等々

SDGs 3の目標である「すべての人に健康と福祉を」では、清掃業務・廃棄物収集運搬業務、浄化槽等の点検そのものが、すべての人の健康を支える業務です。つまり私たちの仕事そのものが目標達成に大きな貢献をしているのです。これからも全従業員のご協力をお願いします。

3 すべての人に健康と福祉を



交通安全の価値を考える

当社も会員となっている公益社団法人愛知県安全運転管理協議会(AAKK)は、交通事故を減らすだけではなく、会社の業務活動全体にも良い結果をもたらす安全運転管理のあり方を提案してくれています。そこで今回は、皆さんにも安全運転を行うことの価値について考えて頂きたく、AAKK専務の小林様の文書を一部抜粋して紹介します。

『安全運転の価値・人格の価値』

自動車は人を乗せ、物を運ぶ。家族を乗せ、恋人を乗せ、幸せを運ぶ。自動車とは、安全で快適、そして便利な乗り物です。決して、人を傷付けるために作られたものではありません。それにも関わらず、毎日多くの人が交通事故によって傷付き、時に命を失っています。

それは何故なのか、そこに不足しているものは何か・・・

安全なはずの車が人を傷付ける、そこに欠落しているのは車の部品ではなく、ドライバーである私たち自身の「安全意識」なのだと思います。車の快適さに心を奪われてその危険性を忘れ、自己過信に陥って自分だけは大丈夫だと思い込み、漫然と運転しているからです。そこにあるのは「安全意識」ではなく、「自己過信」に過ぎません。

そして、事故を起こした時、自分の不注意や安全意識の不足を反省するのではなく、相手が悪いとか運が悪いと言い訳をするようでは、どれだけ自動車の安全機能が向上しても、事故をなくすことなどできません。

人の運転は、その時々判断に基づいて行われているように思われますが、そのほとんどは習慣的な行動です。たとえば、時速40キロの規制道路を時速50キロで走るか時速60キロで走るか、あるいは信号が黄色に変わった時のブレーキを踏むタイミングなど、そうした運転行動はその時々判断ではなく、むしろその人の習慣的な行動です。

そして、その習慣的な行動は、その人の行動規範によって形成され、その行動規範とはその人の価値観に根差しています。さらに、その価値観とは、その人の経験によって形成され、過去の運転行動もこの経験に含まれるため、全体が循環することになります。

※運転行動→経験→価値観→行動規範→習慣的行動⇒運転行動

したがって、安全運転を行うことの価値を正しく理解し、自分のものとしなない限り、恒常的な安全運転はできないことになります。

安全運転を行うためには、そこに正しい価値を見つけ、自分の運転行動に変化を与えることが必要であり、それは車の運転という日常行動、その習慣を変えることです。事故を防ぐためには高い安全意識を持つこと、そして安全運転の価値を認めることが不可欠です。

安全運転の価値を認めることができる人は人生の価値を認めることができる人格者です。それは、自由の価値を認めることと同義だからです。

すなわち、交通安全の価値とは、そこに自由と同じほどの価値を認めて自ら行動する人、その人格の価値のことだと考えています。

皆さんも、運転するにあたって習慣的な行動を見直し、変化を与えることに意識してみてはいかがでしょうか？その一人一人の安全意識が、交通事故防止につながるのだと思います。



社長の独り言～伊勢湾台風～



1959年(昭和34年)9月26日、私が生まれる4年前に起こった大災害。

本社がある緑区、本社から1.5Kmほど離れた篠の風地区は、その災害で出た倒壊家屋の廃材などゴミの集積場となり、その後ゴミの山の上に土が被せられ現在の地形となりました。そして平成元年に公園として整備されて「滝の水公園」と名付けられ、風光明媚な場所として区民に愛される場所となっています。しかし、ゴミから発生するガスを抜くための配管が未だに園内で見ることができます。

後に「伊勢湾台風」と呼ばれた台風15号が、和歌山県潮岬付近に26日18時過ぎ、930hPaの勢いを持ったまま上陸し、あまり勢いが落ちることなく速い速度で横断し東海地方を中心として甚大な被害を及ぼしました。名古屋での平均風速は約37m/s、瞬間最大風速は45.7m/sを超えました。

■愛知県の人的被害■

- ・死者・行方不明者 3,260名
- ・負傷者 38,921名
- (全国の死者・行方不明者5,098名
負傷者59,045名)

■愛知県の住宅被害■

- ・全壊 23,334戸
- ・半壊 97,049戸
- ・流失 3,194戸
- ・床上浸水 53,560戸
- ・床下浸水 62,831戸

なぜ、こんなに被害が
でたのでしょうか？



(次ページへ続く)



伊勢湾では、台風が西側を北上し非常に強い南寄りの暴風が持続する状況となり、この強い風による吹き寄せと低気圧による吸い上げの効果で高潮が起こり、満潮時を外れていたにもかかわらず名古屋港では海水位が平均3.89m、工事基準面からの高さは5.31mに及び、観測史上最高水位を記録しました。伊勢湾奥の海岸防波堤は3.38mしかなく、名古屋市周辺では、急速な工業発展に伴う地下水の汲み上げによる地盤沈下と無計画な都市化が進んでいたのも一因と言われています。そして、名古屋港の貯木場（現在の白鳥公園付近）の輸入原木丸太（1本1トン以上推定約20万トン）も加わり高速氾濫流が市街地を襲い建物を破壊し、避難者を巻き込む二次被害も発生しました。

※自治体の長の避難警告に多くの住民が従い、避難警告が早く出された自治体は、死亡率が低かったようです。

その後、国は1961年（昭和36年）災害対策基本法を公布し防災に関する責務の明確化や組織の設立などを規定し、以降の防災に役立てています。昨年、令和3年5月20日から新たに避難情報が変わりました。

この地域では、2000年（平成12年）9月11日の「東海豪雨」が記憶に新しく、お客様も数店舗が水害に見舞われお手伝いとして駆けつけました。それ以来、今年の台風15号・16号は大型と言われ各地で大きな被害が発生しましたが、運良くこの地域を避けてくれました。

災害に「強い地域」ではなく、たまたま被害がない地域として、備えることは自身・家族・生活を守るうえで必要不可欠です。改めて備えについて考える必要があります。

行動しましょう！

[↓現在の滝の水公園]



BizLib Timecardアプリ ログインID訂正のお知らせ

先月の給与明細に同封した「BizLib Timecardアプリ 使用方法」に記載されてるログインIDに誤りがありました。正しくは以下の通りです。ご迷惑をおかけしますが、ログインができなかった方は再度設定をお願いします。



[誤]社員番号@oandk



[正]社員番号@oandk-t